

緩和ケアって何？

貴方は最期をどこで、どのように
迎えたいですか？



特定医療法人萬生会が行える緩和ケア

日本財団法人が「人生の迎え方」に関する全国調査（対象者1,042名）で、6割の方が「自宅で最期を迎えたい」と回答されています。

「自分らしくいられるから」がその理由だそうです。

しかし、同調査では、親世代の約8割は「自宅で最期を迎えたいが、家族に負担をかけたくない」と答えています。一方、子供世代は親に「積極的な医療を受けること」「可能な限り長生きすること」を望みつつ、「家族等との十分な時間を過ごせること」も大切にしたいと答えています。

親世代



できるだけ家にいたい

家族に負担をかけたくない

子供世代



家で看ることもできるけど、対応に不安。病院に入院した方が安心かな。

私たちと一緒に過ごす時間を時間をつくりたい。

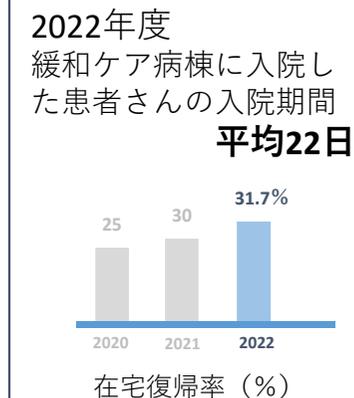
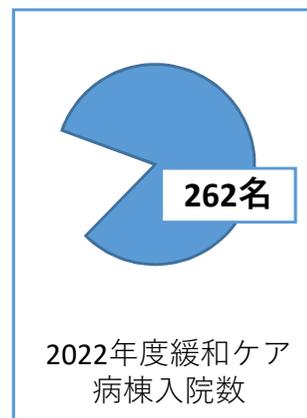
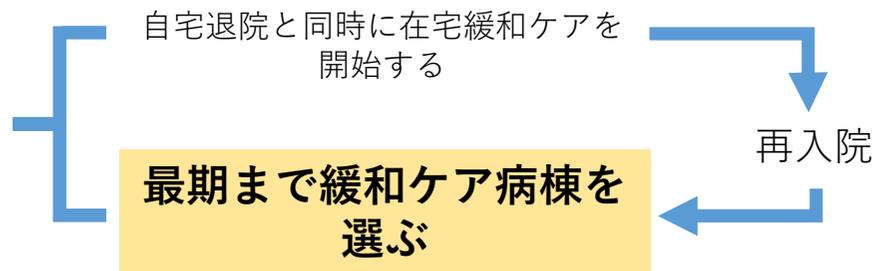
最期の時期をどこで、どのように過ごすのか？それは、ご自身次第です。

“自宅” “病院” “施設” など選択は様々でしょう。

決めたとしても病状や環境などによって過ごす場所は変わる場合もたくさんあります。むしろ、過ごす場所が変わるのは当たり前です。

私達、萬生会ではこのような支援をしています

緩和ケア病棟に入院した患者さんの転機



入院時や外来受診されたときに、ご意向を確認します。入院後に自宅での療養をご希望された場合にもスムーズな移行が可能です。



医師) どこで最期を過ごしたいと考えていますか？など患者さんの意向の確認をいたします。症状がお辛いときにどのような治療やケアが必要かチームで検討し実施します。



ソーシャルワーカー) 意向を確認後、気持ちの変化に合わせ、訪問看護や訪問診療など適切なタイミングで調整します。



看護師) 日常生活のケアを行い一緒に痛みが和らいでいるかを評価します。ご家族には、お話を尋ねながら自宅で過ごす希望があるときは介護指導などを行います。



栄養士) 最期まで食事が食べられるように工夫・提案します。



鍼灸師) 東洋医学の視点から四診(望診, 聞診, 問診, 切診)を行い、鍼や灸を使用して、患者さんの主訴緩和を図ります。

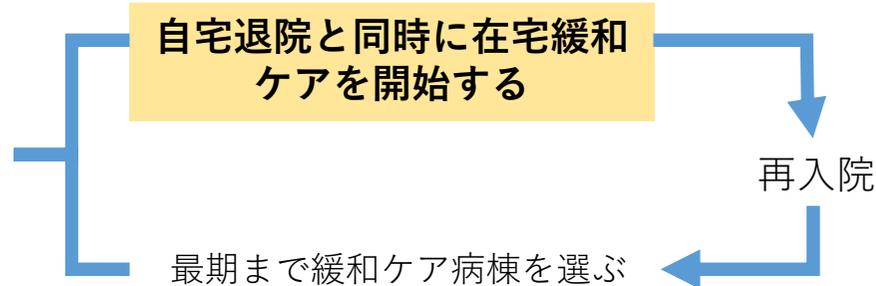


薬剤師) 疼痛などの苦痛の緩和を図るため、多職種一緒に薬剤からのアプローチを行っていきます。



リハビリ) 希望を支えるために最期までリハビリ方法を検討し、安楽に過ごせるよう支援します。

緩和ケア病棟に入院した患者さんの転機



ご自宅での療養をサポートできる体制がございます。地域の施設やケアマネジャーなどの皆様との連携も行っています。

ご自宅での療養では、様々な機械や福祉用具で療養生活を支えます。ご自宅で痛みや呼吸困難感が軽減できるように鎮痛剤や酸素を使用できます。



訪問診療)

医師が患者さんやご家族はご自宅で診療が受けられるので、移動の心配はありません。



福祉貸与事業所)

ベッドや介護用品、在宅酸素の準備も可能です。ご自宅まで運びます。



在宅酸素療法



介護ベッドの設置例



訪問看護) ご自宅での生活で過ごすときのきつさを軽減するためのケアを行います。どのように残された時間で過ごすのか、できることをご家族とともに考えます。



居宅支援事業所 ケアマネージャー) 最期まで、ご自宅で療養できるよう介護ベッドや車いすなどの介護用品、在宅サービスなどを利用者さんに合わせてスピーディに準備します。



サンセリテ月出) 特定施設入居者生活介護の事業指定を受けているサービス付き高齢者向け住宅です。在宅療養支援診療所や訪問看護ステーション等と連携し、入居者様が最期(看取り)まで安心して生活できます。



デイケア) 自宅にご家族がおられない日は、デイケアで過ごすようケアマネージャーと相談が可能です。看護師が常駐していますので、不快な症状への対応が可能です。



ご自宅で使用できる痛み止めの持続皮下注射